

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 札幌市立手稲西中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒006-0043

札幌市手稲区金山3条2丁目8-7

E-mail masahiro.kinoshita@sapporo.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 65 名 女子 70 名 合計 135 名

幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 14 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

ユネスコ憲章前文の一部「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」の精神にのっとり、その理念の一つ、シンクグローバリー・アウトローカリー（地球や世界という大きな視野でものごとを考え、考えたことをその地域で行動・実践する）をとらえ、世界との「つながり」「かかわり」を意識し、主に『異文化理解』と『環境教育』をテーマに教育活動に取り入れている学校です。

具体的には、①総合的な学習の時間で環境や異文化に関わる学習、②教科では異文化や自国の伝統文化に関わる学習、③特別活動では、生徒会活動として全校に呼びかけ環境や人権に関わる活動を行った。

① 環境や異文化に関わる教育

本校では、毎年11月に総合的な学習の時間の中で、1年生は「環境・自然」、2年生は「職業・暮らし」、3年生は「福祉・社会保障・国際理解」をテーマに、リサイクル工場見学（1年）や、地域の事業所の理解協力を得て、職場体験（2年）、JICA札幌で国際協力についての講話や民族衣裳の試着（3年）、個人個人が調査活動や体験活動を行い、まとめ学習では、報告レポートの作成、発表会を行っています。

② 異文化や自国の伝統文化に関わる学習

技術・家庭科1年生では、NPO法人日本時代衣裳文化保存会の支援を受け、日本文化の伝統にふれる「和装着付け」の学習をすると同時に礼儀やマナーについても学ぶ。異文化を理解するためには、先ず自国の文化を理解する学習をしています。

③ 環境や人権に関わる学習

○生徒会の福祉局を中心にエコキャップ回収運動・リングプル回収運動・地域草むしり、校地周辺雪かきボランティア、東日本大震災・熊本地震被災支援募金活動など実践的な活動を行っています。

○2学期に行われる学校祭では、校区内にある老人ホーム神愛園「星置ハイツ」のお年寄りを招き、また「手稲養護学校」の中学部の生徒の皆さんも招待し、主にステージ発表を鑑賞してもらうというプログラムを実践。3学期には、「手稲養護学校」に本校生徒（生徒会執行部と福祉局が中心）が訪問し、近況報告やゲームなどで交流を深めています。

①



②



③



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校運営の方針・重点目標において、手稲西中らしい教育活動の推進として位置付けている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

年間計画へのしっかりとした位置付け。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

活動の内容を広く保護者・地域に啓蒙するための手段をして、学校便りやHPへの掲載などが有効である。(昨年より発行が減り、保護者アンケートにおいて、評価が低くなったため)

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

なし

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

なし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

特になし

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

例年と同様の活動を考えている。

- ・教科では、技術・家庭科において、和装着付け教室を実施（1年生）。
- ・総合的な学習の時間では、1年生が「環境・自然」、2年生が「職業・暮らし」、3年生が「福祉・社会保障・国際理解」というテーマで、体験・見学を通して、調べ・まとめの学習を行う。
- ・特別活動や生徒会活動を通して、環境・人権・福祉など、自分たちにできることは何かを考えながら、活動を行っている。